

2004 年度 委員会活動成果報告

(2005 年 3 月 31 日作成)

委員会名	コンクリート試験法小委員会	主 査 名：谷川 恭雄
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工本委員会 (鉄筋コンクリート工事運営委員会)	委員長名：嵩 英雄
設 置 期 間	2001 年 4 月 ～ 2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・初年度(2001 年度)：鉄筋コンクリート工事および構造物に適用可能な各種試験方法の技術の現状の調査および討議を行う。 ・2 年度(2002 年度)：初年度に続き技術の現状の調査を行うとともに、マニュアル作成のための共通実験実施の為の検討を開始する。 ・3 年度(2003 年度)：各種試験方法の技術の現状を取りまとめた中間報告(テーマ試験方法に関する応募論文を含む)を作成し、これら中間成果と次年度最終報告書に関するディスカッションを行うため、シンポジウムを開催する。また、本委員会提案の統一試験方法案(単位水量、鉄筋探査等)としてまとめるため、公開共通試験を実施する。 ・4 年度(2004 年度)：共通試験の最終取りまとめを行うと併に、「鉄筋コンクリート構造物の施工および品質・維持管理に関する試験方法(仮称)」の原案作成を行う。 	
委員構成 (委員名(所属))	谷川恭雄(名城大学)、池永博威(千葉工業大学)、棚野博之(建築研究所)、今本啓一(足利工業大学)、込山貴仁(コンステック)、鈴木一雄(全国生コンクリート工業組合連合会)、高橋茂(セメント協会)、永山勝(日本建築総合試験所)、並木哲(大成建設)、南部禎士(都市基盤整備公団)、西田 朗(清水建設)、畑中重光(三重大学)、濱崎仁(建築研究所)、三井健郎(竹中工務店)、山田和夫(愛知工業大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	迅速試験法ワーキンググループ： ・材料選定から竣工までの各種試験方法に関して関連学協会などで提案、規格化されている既存試験方法の整合性、統一化に関する調査・検討およびそれらの取りまとめを行う。 ・フレッシュコンクリートの単位水量に関する本小委員会提案の統一試験方法案を作成するため、公開共通試験のとりまとめを行う。 非破壊試験法ワーキンググループ： ・竣工以降、建物の維持・管理、解体・改修までの各種試験方法に関して関連学協会などで提案、規格化されている既存試験方法の整合性、統一化に関する調査・検討およびそれらの取りまとめを行う。 ・コンクリート中の鉄筋探査および反発度に関する本小委員会提案の統一試験方法案を作成するため、公開共通試験のとりまとめを行う。	
2004 年度予算	100,000 円	

項 目	自己評価
-----	------

<p>委員会活動状況 (開催日・参加人数)</p>	<p>第17回小委員会：平成16年4月13日・11名 第18回小委員会：平成16年6月21日・9名 第19回小委員会：平成16年8月18日・12名 第20回小委員会：平成16年10月21日・11名 第21回小委員会：平成16年12月8日・10名 第22回小委員会：平成17年2月21日・9名</p> <p>第15回非破壊試験法WG：平成16年5月26日・8名 第16回非破壊試験法WG：平成16年6月17日・10名 第17回非破壊試験法WG：平成16年7月14日・9名 第18回非破壊試験法WG：平成16年10月1日・6名 第19回非破壊試験法WG：平成16年12月8日・8名 第20回非破壊試験法WG：平成17年3月30日・7名</p> <p>第17回迅速試験法WG：平成16年5月19日・9名 第18回迅速試験法WG：平成16年6月16日・11名 第19回迅速試験法WG：平成16年7月20日・9名 第20回迅速試験法WG：平成16年8月23日・9名 第21回迅速試験法WG：平成16年10月13日・8名 第22回迅速試験法WG：平成16年11月15日・13名 第23回迅速試験法WG：平成16年12月22日・10名 第24回迅速試験法WG：平成17年1月26日・8名 第25回迅速試験法WG：平成17年3月9日・8名</p>
<p>得られた成果</p>	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) 本委員会は2001年4月に設置され、これまでに鉄筋コンクリート関係工事にかかわる各種試験方法の技術の現状を取りまとめた「コンクリートの試験方法に関するシンポジウム／報告書」の刊行とシンポジウムの開催を行ってきた。 また、フレッシュコンクリートの単位水量推定方法やコンクリート中の鉄筋探査方法、リバウンドハンマー等による簡易強度試験方法など上記シンポジウムでテーマとしたこれら試験方法の標準化案を提案するため公開共通試験を実施し、標準化案の審議を行った。</p>
	<p>委員会 HP アドレス：</p>
<p>目標の達成度</p>	<p>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</p> <p>鉄筋コンクリート関係工事にかかわる各種試験方法の技術の現状を、「コンクリートの試験方法に関するシンポジウム／報告書」として取りまとめるとともに、平成13年度に実施した単位水量推定、鉄筋位置探査等の実験結果は本会年次大会講演梗概集に報告している。</p>
<p>その他評価すべき事項</p>	<p>設置期限満了となり、鉄筋コンクリート関係工事にかかわる各種試験方法の技術の現状などを取りまとめた。</p>